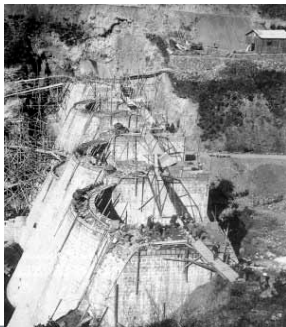


豊稔池

(ほうねんいけ)



ため池の概要

ため池の所在地

香川県観音寺市

ため池の特徴

豊稔池は、大正時代の二度の大干ばつを契機に、工学博士の佐野藤次郎氏の指導のもとに、当時、最新技術であったマルチプルアーチ構造を採用して築かれた農業用ため池です。

中世ヨーロッパの古城を偲ばせる偉容と風格を漂わせており、景観的にも学術的にも随所に斬新な設計を取り入れました。特に洪水吐はサイフォン式を導入するなど、その構造は高い評価を得ており、平成18年に国の重要文化財に指定されました。

大正15年に始まった堤長128m、堤高30.4mの工事は、地元農家を中心とする作業班が担い、身近な材料を使って僅か3年8ヶ月で完成しました。

現在、豊稔池からは約530haに農業用水を供給しており、かつて「大野原は月夜に焼ける」と言われた原野が、米と野菜、果樹等による複合農業経営を中心とした生産性の高い集約型農業地域に変わりました。特にブランド野菜「らりるれレタス」は全国に出荷され、その名を知られています。

豊稔池の地上30メートルの堤から放たれる放水は讃岐路に本格的な田植えシーズンを告げる風物詩となっており、毎年多くの観光客が訪れます。

関連情報

讃岐のため池誌(編集) 讃岐のため池誌編さん委員会(発行) 香川県農政水産部土地改良課